



大井町議会だより 2018. 11. 1 No.197

ひ た よ ろ う ん

正副議長改選……………2

第3回定例会・第3回臨時会……………4

平成29年度決算認定

9月13日から26日の14日間

一般質問 **ここが聞きたい（5人）** ……9

委員会活動報告……………12

中学生議会……………13

10人の中学生議員が登壇

町のこの人あのひと……………14

町の自然遺産「里山」に取り組む

相和もりあげ協議会

こみや 小宮 しんいちろう 真一郎さん



第3回中学生議会の議員

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

第3回定例会は、9月13日から26日までの14日間の会期で開催され、平成29年度の6会計の決算、平成30年度の6会計補正予算などの審議をしました。

また、行財政全般にわたる一般質問には5人の議員が登壇し、町の考えを質しました。
最終日には、議員間の申し合わせにより、議長・副議長の選挙を行いました。

議長選挙の投票前に休憩をとり、正副議長志願者の所信表明を行いました。この所信表明では、熊田議員と細田議員とが議長を志すスピーチを行いました。他の志願者はなく、直ちに投票を行った結果、細田勝治議員が議長に当選しました。次に副議長選挙を行い、伊藤奈穂子議員が当選となりました。
その後、常任委員会の委員等の改選を行い閉会しました。

正副議長選挙の結果

(投票総数は、ともに14票)

議長選挙

細田 勝治	10票
熊田 和人	3票
曾根田 徹	1票

副議長選挙

伊藤奈穂子	10票
熊田 和人	2票
無効票	2票



副議長 伊藤 奈穂子



議長 細田 勝治

就任のあいさつ

町民の皆さま、日ごろから議会の活動には、多くの関心とご協力をいただきまして心より御礼申し上げます。私たちは、このたび第3回定例会での正副議長選挙の結果、大井町議会議長と副議長に選出され、就任いたしました。職務の重責を担い、責任を全うしていく所存です。

さて、議会の役割の一つに「行政監視機能」があります。町政は平成32年度までの「おおいきらめきプラン」の最後の第4次実施計画に入っています。中央土地区画整理、未病バレーBIOTOPIA、都市計画道路金子開成和田河原線、教育施設の整備・改修による教育環境の充実等計画が目白押しですが、議会としてしっかりと行政をチェックしてまいります。

もう一つの役割は我々議員の「政策立案」の充実強化です。議員は議会活動を通して、活発な議論の応酬が要求されます。それには一人一人の議員が町民の皆さまと話し合い、要望を聞き、それを町政に反映させるように、お互いに研鑽してまいります。

これからも町政とは公平かつ円滑な議会運営で対応してまいります。微力な私たちですが、町民の皆さまのご期待に応えられるようがんばってまいります。ご支援をよろしくお願いいたします。

議長に 細田 勝治 氏
副議長に 伊藤 奈穂子 氏 を選出

委員会等の構成

教育福祉常任委員会

委員長 清水 豊司
副委員長 清水 亜樹
委員 鈴木 武夫
委員 瀬戸 和雄
委員 曾根田 徹
委員 伊藤奈穂子
委員 熊田 和人

企画経済常任委員会

委員長 牧野 一仁
副委員長 田村 俊二
委員 石井 勲
委員 小田 眞一
委員 北村 正夫
委員 細田 勝治
委員 諸星 光浩

広報常任委員会

委員長 伊藤奈穂子
副委員長 田村 俊二
委員 石井 勲
委員 瀬戸 和雄
委員 曾根田 徹
委員 清水 亜樹
委員 牧野 一仁

議会運営委員会

委員長 石井 勲
副委員長 清水 豊司
委員 北村 正夫
委員 瀬戸 和雄
委員 清水 亜樹
委員 牧野 一仁

一部事務組合選出議員

足柄上衛生組合議会議員

細田 勝治
清水 豊司

足柄東部清掃組合議会議員

細田 勝治
伊藤奈穂子
牧野 一仁

※小田眞一議員は10月1日付
で議員辞職。



平成29年度決算認定は、一般会計と4つの特別会計、1つの企業会計について町長から実績報告があり、また監査委員から監査報告がなされ、引き続き課長から要点に触れて説明が行われました。

一般会計の審査においては、決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査

を行い、本会議では、委員長報告後、曾根田徹議員の反対討論、熊田和人議員の賛成討論があり、賛成多数で認定しました。

その他5会計においても賛成全員または賛成多数をもって認定しました。

単位：万円

会 計		歳 入	歳 出	差 引
一般会計		57億0,028	53億4,282	3億5,746
国民健康保険 特別会計		21億8,207	18億7,844	3億0,363
後期高齢者医療 特別会計		2億0,886	1億8,656	2,230
下水道特別会計		6億3,266	5億9,191	4,075
介護保険特別会計		10億6,273	10億3,822	2,451
水道事業 会 計	収益の 収 支	3億0,259	2億5,112	5,147
	資本的 収 支	0	1億2,841	△1億2,841

※金額は端数を調整して、万単位にしています。

決算審査ダイジェスト

一般会計

歳入全般

問 実質公債比率は29年度まではよくなっている。元利償還金が減っているからか。

答 20年度以降は大きな事業債はないが、25年度以降は学校改修事業債等の償還分が計上されるので比率は増加傾向になる。

問 ふるさと納税の収支は。

答 寄附額は、約7700万円、事業費は、約5000万円。町民税流出分は、約900万円。差引約1800万円の収入。

問 町民税は納税義務者増加だが減額の要因は。

答 非正規雇用者の増加はあるが、ふるさと納税や退職金等の減少がある。

問 固定資産税納税義務者は増えているが、税額が減っている要因は。

答 家屋は増だが、土地は下落率を毎年反映させているため減。償却は新規がない限り減少している。

問 生涯学習センターの施設利用料収入が上がっ

ている要因は。

答 利用回数は前年より減っているが、加算分が増えた。

歳出全般

問 ふるさと納税の返礼品や還元率等の現状は。

答 返礼品は39種類、すべて地場産・還元額は返礼品代3700万円。

問 総務省の返礼品還元率30%以下への対応は。

答 返礼品の質を下げるか寄附金を上げるかだが、当町は後者を取る。

問 コンビニ収納取扱手数料の件数と割合は。

答 町民税3121件、固定資産税3705件、軽自動車税2877件、合計9703件。全体の3割強。コンビニ利用者は増えている。

問 三世代同居補助金の利用者と今後の傾向は。

答 29年度は申請件数が少なく補正したが、30年度はすでに30件ある。今

後も増える見込み。

利用者は、ほとんど町外からの転入者である。

問 フェイジョアの販路拡大の金額の内訳は。

答 商工会の補助金は50万円。ジャム、フェイジョア酒を開発。フェイジョアの出荷量は28年度が1121kg、29年度は1488kg。

問 情報モラル教育の委託先。その内容は。

答 委託先は(株)教育ネット。内容はネットトラブル、ネットモラル等についての指導を行う。大井小高学年とその保護者、湘光中全生徒。

スマホの所有率が高く、ネット使用率も高い。

国民健康保険特別会計

問 一人当たり給付費が増額している理由は。

答 全体では減っているが、被保険者上位10人で全体の約8%を支払っている。

問 一人当り医療給付費の県内での順位は。
答 28年度は一番低い。大井町の医療費はかかっていない。

下水道事業特別会計

問 地方公営企業法適用業務はどこまで進んだか。
答 32年度からの移行を目指しているが、29年度で資産の把握が完了した。

問 固定資産総額は。
答 28年度末で約108億円。職員では不可能なのでコンサルに依頼した。

介護保険特別会計

問 地域密着型介護予防サービスは何人か。
答 対象者は1名であり、今後もサービス利用は想定される。

平成29年度 一般会計決算 討論

事業の取組み方に問題あり

反対討論

曾根田 徹

平成29年度の歳入総額は約57億28万円、歳出総額は約53億4282万円となり、前年度と比較して差引残額は増額になるが、町歳入を見たとき、町民税では個人の歳入額としては減少傾向にあり法人も減少している。減収が続いていることを考えたら町の景気は回復に至っておらず、雇用の伸びはあっても個人所得収入が伸びているとは考えられない。

移住定住として、お試し住宅を行い体験料として6件26万円の歳入があるが、住宅維持管理委託料29万円、住宅用空き家借上げ料20万円等の歳出を見たとき財源はマイナスとなる。事業としては利益を求めるものではないが、事業を行なう上では結果は求められるものである。HP上の予約状況を確認すると利用者はいるが、移住・定住につながっていないことは反省すべきだ。

食と交流体験では、NEAリーダーの講習会を開催するなど人材育成をし、交流体験、モニター民泊も実施しているが、特に食のブランド化としてご当地弁当の販売やフエイジョア販路拡大、生産技術向上により出荷量は増えているとしているが認知度は低いと考える。町もPR活動をして周知しているのであれば、町民の8割以上が知る事業を目指すべきだ。

町のふるさと納税は、総務省の発表で寄附額に対し高い割合の返礼品を送っていると指摘された。町も早急に対応をするとして見直すべきだ。

以上、私からの反対討論とする。

厳しい財政の中、健全な町政運営に評価

賛成討論

熊田 和人

歳入総額57億28万円、歳出総額53億4282万円、差引額3億5746万円、翌年度へ繰り越す財源は実質収支3億2685万円となる。財政指標から見た決算状況は、財政力指数は、平成29年度単年度は0・844、また平成27年度からの3年平均は0・856である。過去の地方交付税不交付団体の頃から比べて厳しい状況ではあるが、町当局の努力によりこのような数字に収まっていることは、大いに評価できるのではないかと声を大にして言いたい。また、経常収支比率は88・2％となり、前年度から2・1ポイント上昇した。その原因も分析出来ている説明もあり、より一層の努力を期待するものである。財政の健全化判断比率等について、実質公債費比率が平成27年度からの3か年の平均がマイナス0・5％となり、前年度より0・2ポイント改善されており、18％以上でイエローカード、25％以上でレッドカードとなるので相当に良い数字であることは明らかである。これは極力町債を発行することなく町政を運営し将来にわたる住民負担を抑制してきたことであり、このことに関しても評価したい。

歳入においては、町税では軽自動車税が増収になったが、個人分、法人分それぞれ減収になり、固定資産税やたばこ税も減収となり厳しい状況が続いているが、寄附金のふるさと納税は788万円の増加と明るい事例もある。最近国がふるさと納税の見直しも示唆しているので町当局も十分に制度を把握し寄附金が一層増加していくよう期待する。

歳出においては、おおいきらめきプラン後期基本計画の2年目であり、町の大きなプロジェクトである大井中央区画整理事業と未病に係る未病バレーピオトピア第1期オープンに関する準備等の事業についても大きく進展を迎えた年度であった。また、大井町成長戦略については、着実に事業の推進がなされた。このような様々な施策・事業が効率よく行われ、町民の満足度は満たされていると確信する。

医療費18歳まで無料に!!

～県内初 平成31年4月より実施～

条例

大井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、改正を行うもの。

大井町小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*小児医療費の一部助成の年齢を引き上げることにより、子どもの健康の増進を図り、健全な育成を支援するために、改正を行うもの。

問 中学卒業後、社会保険加入者となる者もいるが18歳までは対象となるのか。
答 18歳までは、学生、社会人の区別なく自己負担分を助成する。

問 社会保険加入者となっている者への周知方法は。
答 広報等で周知を図り、来年3月に対象者となる者へは個別に通知する。

問 対象人数、財源はいくら増になるのか。
答 対象人数は、530人を見込み、財源は中学生の平均経費が10000円であり530万円増を見込んでいる。

問 全体の対象人数、経費の総額は。
答 今年度の中学生までの人数は、2100人、拡大した530人を加えた2630人である。経費の総額は、中学生までに拡大した平成28年度約6100万円。平成29年度約6000万円。この額に、530万円増を見込んでいる。

問 町単独事業となるので所得制限導入の考えは。
答 中学生まで引き上げた際と同様所得制限は導入しない。

問 対象となる子どもが遠隔地にいる場合は、対象となるのか。
答 扶養義務者が大井町在住であれば対象となる。

問 社会保険加入者となっている18歳までの者が町外在住の場合は。
答 対象とならない。扶養関係にあり扶養義務者が大井町在住であれば対象となる。

問 この条例では18歳までを子どもとしているが成人年齢が18歳に引き下げられた場合「子ども」の概念の整合性は。
答 この条例では「子ども」の定義を18歳までとし運用していく。

問 満18歳までとしているが4月1日生まれの方はいつ18歳となるのか。
答 「年齢計算ニ関スル法律」により前日3月31日である。

問 当初予算編成時に地方交付税の額は予測がつかぬのでは。
答 基礎数値によつては、当該年度の額により算定するため、当初予算編成時では困難である。

問 国民健康保険特別会計からの繰入金金の年度は。
答 平成29年度の法定外繰入金金の清算分である。

補正予算

一般会計

(第3号)(賛成全員)

*歳入は交付税額、繰越金等を計上。歳出は事業の所要経費を計上し歳入歳出それぞれ5260万3千円を増額。

問 基準財政収入額、基準財政需要額の差額が地方交付税の額となるが何年度を基準としているのか。
答 国からの基礎数値調査により算定しているの

で特定の年度を基準としていない。

特別会計

国民健康保険

(第1号)(賛成全員)

*歳入は繰越金等を計上。歳出は国庫支出金等の返還金、基金積立金を計上し歳入歳出2億9714万7千円を増額。

問 積み立てられた国民健康保険財政調整基金の使途は。
答 均等割、平等割額の軽減を検討したい。

問 3月補正時に国民健康保険特別会計からの繰入金清算ができるのでは。
答 3月では医療費等が確定しないのでこの時期となる。

第3回定例会・第3回臨時会

後期高齢者医療

(第1号) (賛成全員)

*歳入は繰越金等を計上。
歳出は後期高齢者医療広域連合納付金等を計上したものであり歳入歳出749万円を増額。

下水道事業

(第1号) (賛成全員)

*歳入は繰越金を計上。
歳出はマンホールカード等需用費、繰越金から需用費を引いた額を予備費に計上。歳入歳出3175万1千円を増額。

問 マンホールカード追加分の内訳、配布枚数は。
答 追加分は4000枚、配布枚数は、2427枚である。



介護保険

(第2号) (賛成全員)

*歳入は支払基金交付金繰越金を計上。歳出は国県等への介護給付費等の精算分、介護保険給付費準備基金の増額を計上。歳入歳出2336万円を増額。

水道事業

(第2号) (賛成12反対1)

*第2浄水場第6水源取水ポンプ、第7水源取水ポンプの突発的な故障により、ポンプ等の交換工事費を増額。

問 第2浄水場で交換したポンプの仕様は。

答 第6水源のポンプは、毎秒1・5m³、日2000t、水位は30m。第7水源のポンプは毎秒2・1m³、日2300t、水位は26mである。

問 ポンプの交換を起債により行うのはなぜか。

答 水道事業の経営状況を勘案すると、ポンプの更新など大規模な更新は後年度負担の観点から起債により行っていく。

問 このポンプの交換は突発的と考え予備費で行うべきではないか。

答 水道事業会計の予備費は、災害等の予期しえない事由に備えたい。

工事請負契約の締結

道路改良工事(町道501号線) (賛成全員)

*予定価格を5459万4千円とし、8社を指名するも1社が辞退のため7業者による入札の結果、(株)鈴木土建工業が376万4000円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

人事

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること (賛成全員)

*中條政夫氏は任期満了となるので再度選任するもの。
中條 政夫(再任 金子)

陳情

住民交流拠点の整備(保健福祉センター土日開放)についての陳情書 (賛成12反対1)

本会議において委員会報告、討論後、採択の結果、賛成多数で「採択」と決した。

教育福祉常任委員会

この陳情は、陳情者子育てサポートおうママの会 代表の大澤祥子氏から提出されたもので、教育福祉常任委員会に付託された。委員会審査にあたっては、陳情者から説明機会の要望があったため、これを許可し、質疑応答を行った。

また、執行部側にも出席を求め、質疑応答を行った。

審査の結果、賛成全員により「採択すべきもの」と決した。



問 平成30年7月3日に担当部署にこの陳情と同じ要望を提出したが、回答の内容は。

陳情者 文書で回答があり、内容は土日開放は考えていないとのことでした。

問 自治会の活動に参加していれば気軽に相談も出来るのではないか。

陳情者 中々、所属している自治会以外のところに参加するには参加しづらい面がある。

問 子育て健康課長が土日開放が出来ない理由を述べていたが、出来るようにする考えは。

子育て健康課長 保健福祉センターは、そもそも事務スペースとして作っている。できるようにするには施設管理等抜本的に見直さなければならず、

人件費等も掛かって来ることから一筋縄ではいかない。

問 将来町民が自由に交流できるような場所も必要と思うが、考えは。

副町長 将来のことは断言は出来ないが、今の段階では他の用途にこの施設を利用する所までは至っていない。

第3回臨時会

7月20日に開催され、工事請負契約の締結1議案を審議しました。

工事請負契約の締結

第2浄水場送水ポンプ等更新工事 (賛成全員)

*予定価格を7938万円とし、12社を指名するも7社が辞退、1社が入札書不着のため4業者に(株)神奈川営業所が7614万円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

第3回臨時会・審議結果

問 設備の更新計画にない送水ポンプ等の更新が追加され、金額も予定より増えているが、ここ数年でやりくりは可能か。

答 計画策定から年数もたっており、新たな故障等もでてきている。今回は重要施設であり優先して工事を行う必要がある。水道事業の全体を見た中で、可能という判断の中で事業を進めている。

問 3年後にまた値上げをするようなことはないか。

答 今後、管路の更新など経営戦略等を立てていく中で見直しをせざるを得ない状況は出てくる。3年たつたから値上げするという安易な考えはない。

問 指名業者に町内業者がない要因は。

答 工事の規模として7000万円を超えており、内容も大きいポンプ、吐出弁の交換で、この工事をできる業者を指名した。

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
小田眞一議長は、採決に加わりません。

臨時会・定例会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順）と審議結果	田村俊二	牧野一仁	熊田和人	清水亜樹	諸星光浩	伊藤奈穂子	曾根田徹	細田勝治	瀬戸和雄	北村正夫	清水豊司	石井勲	鈴木武夫	審議結果
第3回臨時会	45	工事請負契約の締結について（第2浄水場送水ポンプ等更新工事）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3回定例会	46	大井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	47	大井町小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	48	平成30年度一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	49	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	50	平成30年度後期高齢者医療特別補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	51	平成30年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	52	平成30年度介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	53	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	54	平成29年度水道事業会計補正予算		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	55	工事請負契約の締結について（道路改良工事 町道501号線）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定1	決算認定について（平成29年度大井町一般会計）		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定2	決算認定について（平成29年度大井町国民健康保険特別会計）		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定3	決算認定について（平成29年度大井町後期高齢者医療特別会計）		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定4	決算認定について（平成29年度大井町下水道事業特別会計）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定5	決算認定について（平成29年度大井町介護保険会計）		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	認定6	利益の処分及び決算認定について（平成29年度大井町水道事業会計）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
陳情1		住民交流拠点の整備（健康福祉センター土日開放）についての陳情書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	採択

ここが聞きたい 一般質問



任期満了を迎える町長の進退は

【答】 次のステージに向け

町政を後進に託す



清水 豊司 議員

【問】 12月21日に任期満了を迎える町長の進退は。

【町長】 長として今後の舵取りを誤ってはならないことが一番で、それには気力と体力が必要であると私自身考えを持っていて。大きな時代の変化に対応した、次のステージに向けた町政を新たな方に託すことが望ましいということを決断し、過日後援会総会にお諮りしてご理解を頂いた。

【問】 町長は「公正無私」を信条に5期20年の町政運営をされてこられた。この20年の町政運営をどのように振り返られるか。

【町長】 前任者の瀬戸町長時代に将来を見越した健全な財政運営をして頂いた。当時は大手法人から最高で年間12億円くらいの税収があったが、それが毎年入ると考えず、4億円から5億円くらい入るということをベースに、庁舎やいろいろなものを作って私に繋げて下さり、

財政運営に支障をきたす事がなかった。同時に、町民の皆さんに大変窮屈な思いをさせてしまったが「身の丈にあった町政運営」をしてきた。私も暴走するタイプであるが、職員の皆さん、当時の助役、収入役、教育長という方々からあらゆる面でブレーキを掛けられ、手綱を引かれ、行政の課題解決の手法を教えて頂いた中で進めて来たことで、大きな誤りもなく今日を迎えることができた。計画的に「身の丈に合った町政運営」をして行くことを今後の町政を担う人にも願うところである。



次期町長に託された
中心市街地の区画整理

消防団員の準中型免許取得に対する費用助成を

答 取得に対する費用助成を検討する

清水 亜樹 議員



問 新免許制度により、普通免許で消防ポンプ車を運転できない団員が入団することとなる。免許取得に対する費用助成をすべきと考えるが、
町長 将来的には現状の消防車両を運転できない団員が入団してくるので、取得に対する費用助成を検討する必要がある。



消防出初め式で
日頃の訓練成果を披露する団員

問 免許費用助成は団員募集のPRまた、国も費用助成に対して特別交付税を設けている。早急に検討する考えは。
町長 導入自治体の状況や自治会及び消防団の意向を踏まえ、将来的な導入の検討を慎重に判断していく。

防災安全室長 国や自治体等の周りの状況を見ながら準備のほうを進めたい。

問 消防団協力事業所表示制度を導入する考えは。
町長 団員の確保及び活動環境の整備を図る観点からも、今後導入に向けて検討する。

問 国は、機能別消防団員・分団制度の導入を勧めているが、制度に対する町の考えは。
町長 国は、機能別消防団員も課題と認識しており、町も地域から聞いている。今後、定年制や分団の再編等を検討していきたいと考えている。

町長 導入自治体の状況や自治会及び消防団の意向を踏まえ、将来的な導入の検討を慎重に判断していく。

町長 消防団員の充足状況は。
町長 11名の不足で、充足率は92%。

問 団員確保に関して、相和地区は厳しい状況にあるが、定年引き上げや撤廃、また分団の編成を検討したことがあるのか。
防災安全室長 地域や団員も課題と認識しており、町も地域から聞いている。今後、定年制や分団の再編等を検討していきたいと考えている。

問 団員確保に関して、相和地区は厳しい状況にあるが、定年引き上げや撤廃、また分団の編成を検討したことがあるのか。
防災安全室長 地域や団員も課題と認識しており、町も地域から聞いている。今後、定年制や分団の再編等を検討していきたいと考えている。

トレーニングルームの有効活用は

答 食・運動含め総合的に取り組む

伊藤 奈穂子 議員



問 いきいき・おい・健康ステーションの周知方法として保健福祉センターの外にスippyを使ってみては。
町長 財政的なこともあるが、ぱつと心が引かれるようなアナウンス、表示が必要である。今後に期待する。

問 健康ポイント制度の導入は。
町長 健康に無関心層への効果は無いと判断し見

問 健康ポイント制度の導入は。
町長 健康に無関心層への効果は無いと判断し見

問 いきいき・おい・健康ステーションの有効活用は。
子育て健康課長 現在は

子育て健康課長 現在は



トレーニングルームで
いい汗かこう！

合わせている。

問 トレーニングルームを未病関連事業として有効活用する考えは。
町長 将来的には保健福祉センターで行っている未病対策事業の一環として活用出来ればと考える。食や運動含め総合的に取り組むことで効果が上がると考える。

問 未病対策を推進するプロジェクトチームの必要性は。
町長 既にある既存の会議体を活用しながら機能的に取り組む。

問 未病を推進する条例をつくっては。
町長 決めごとを作るより皆が参加しやすい方法を考えていくことだ。

町長 決めごとを作るより皆が参加しやすい方法を考えていくことだ。

問 第4次実施計画の成長戦略において次世代産業の共創ということで、未病関連産業を特化して計画しているが、共創とは目標設定段階から町民・行政・大学等が、意見を出し合い共に創り上げていくものである。BIOTOPIAと点在する施設をどうリンクして活性化



「まちづくり」に町民を交えたワークショップ等行うか

答 以前の「まちづくり会議」と同じように行っていく予定

諸星 光浩 議員

問 ブルックスHD、県町で基本協定が締結されたの4つの役割が示された。①県西地域の他の市町との地域間連携を図ること。②本件施設との連携により、相乗効果を生み出すことができる取組を推進すること。③本件施設が地域の交流拠点となるよう地域の住民、事

【BIOTOPIAの3者基本協定について】

化していくかを町民や有識者など交えて検討していく考えはあるか。
企画財政課長 BIOTOPIAに限らずまちづくり全体を町民、事業者、民間、そういった方々と話をする機会は、今後は絶対に必要になってくると考えている。



4月にオープンしたBIOTOPIAのマルシェ

業者、民間団体との連絡調整を行うこと。④県との連携により、地域再生計画をはじめとする地方創生に関する国の制度を活用すること。
これらの役割内容及び現状と今後の計画は。
町長 施設の実態が伴ったことからイメージの共有が図られ、2市8町の回遊性の向上、秦野市との連携・協力の働きかけを行う。雇用の創出、産業機能の集積の一助となるようサテライトオフィスを整備した。また、移住定住促進のためお試し住宅を整備。相和地域では里山等の地域資源を活かし農家民泊を含めた食と体験交流事業のブランド化に向けた取り組みを推進している。

31年度予算編成は骨格予算か

答 例年通り組む、最終調整は新リーダーで

石井 勲 議員



問 町と連携の自主防災訓練、真夏での日程変更は。

町長 各自自主防災組織の意向を踏まえ、今後の訓練計画については関係機関とも議論し、参加者の体調管理にも配慮し実施していく。

問 災害時、町長が発令する避難勧告・避難指示等町民に分かり易く説明が必要。

町長 災害時、町長が発令する避難勧告・避難指示等町民に分かり易く説明が必要。

防災安全室長 避難準備情報・勧告・避難指示等改めて町民に示していきたい。

問 町内河川、菊川・芭蕉川・勝利川の管理体制は。

町長 国土交通大臣が指

定した砂防区域である。菊川上流は地元の要望により、護岸の保護・水面・水路断面の確保の為、県土木にて工事をした。町内道水路はパトロールしているが、県と連携しながら安全な河川管理に取り組む。

問 菊川、上大井地内に入った付近から樹木が川にかぶさっている、氾濫の原因となる危険性が高い、現地調査し対策を講ずるべき。

町長 現地を見させる。ただし民地内の樹木は所有者に対応していた。大川カルバート付近、大雨の時危険である対策は。

問 私編成を進め、最終調整は政策的判断が必要になるため、新リーダーが行うべきであり編成はタイトとなる。



「菊川」上大井地内河川流域模様

都市整備課長 大川函渠拡張改良工事、詳細設計に向けてJRと協議しているが進まない状況。話が途切れることなく催促しながら整備に向けて進めていく。

問 大規模災害時、町は受援体制について、防災計画に反映しているか。

町長 混乱の原因が「準備不足」にならぬよう研修・図上訓練・応援・受援体制の実効性を高めていく。支援物資の保管、人的支援の活動拠点となる受援機能を持った防災備蓄倉庫を建設する方向で計画している。

問 町長任期と予算査定最終局面と重なる、査定は骨格か、編成を完了するか。

町長 私が編成を進め、最終調整は政策的判断が必要になるため、新リーダーが行うべきであり編成はタイトとなる。

行政視察報告

企画経済常任委員会

7月10日から3日間の
石川県かほく市、羽咋市、
富山県射水市視察の報告
する。

石川県かほく市
「下水道施設の
包括的民間委託」

同市上下水道事業の人口普及率は99%で、建設事業中心から維持管理・更新事業が中心になっている。包括的民間委託は市が水質等の水準を定め、



石川県羽咋市
「農業法人株式会社
神子の里」

それを市が監視するだけの民間との複数年契約である。
包括的民間委託を導入した目的は、民間事業者が持つノウハウや技術力を積極的に活用して、コスト削減を図り維持管理水準を確保することだ。

広域行政の中での上下水道事業は、近隣4市2町で広域連携事業を進めている。短期は計量器の共同調達、中期は施工業者指定等の共同化、長期は維持管理業務や窓口業務等とそれぞれの目標が明確になっている。



この農業法人は平成19年3月に設立し、同年7月から直売所として管理運営を開始している。オリジナル商品の開発やここにしかない商品の品揃えをするなど他の直売所との差別化を図っている。例えば平成17年に日本で初めてローマ法王に献上した神子原米はここで販売されている。現在の生産高は500俵、反当り7俵に限定しており、幻の米と言われている。神子原米のもう一つの特徴は神子原の棚田だ。



山の中腹から見る10haの棚田の景色は圧巻だ。大井町の高尾の棚田は5000mですので残念ながら比較にならない。少子高齢化の波はこの地区でも後継者の問題を含めて課題が山積している。農産物のブランド化は重要なことだが、農業だけでの地域活性化への取り組みは難しいことだ。

富山県射水市
「下水道事業の企業会計方式への移行について」

平成31年度までに人口3万人以上の市町村は移行が義務化され、それ以下の人口でも極力移行が必要だが、当町では32年度からの移行を目指している。射水市は人口9万3千人で平成24年度から企業会計に移行した。当町では既に水道事業で実施している。

移行に際しての課題は職員のスキルアップと予算措置、そして膨大な事務量の固定資産台帳作成と財務会計システムの構築だ。

射水市では今後の下水道事業として「射水市下水道ビジョン」を作成し、平成35年度までの10年間の目指すべき方向性を示した。「次代に引継ぐ健全な経営環境」は参考になるのではないだろうか。

(細田 勝治)

教育福祉常任委員会

去る7月3日から5日で、秋田県大仙市には小中学校における学力向上の取組みについて。横手市には健康の駅推進事業について。青森県南部町には「笑顔あふれる健康のまち」の取組みについて視察を行った。

大仙市の教育目標は、生きる力を育み、社会を支える創造力を育むまちづくりで、子どもたちの好奇心を揺さぶるために、学校、地域、関係機関が連携を図り積極的に支援に取組むことで、学力向上につながっている。



委員会活動報告

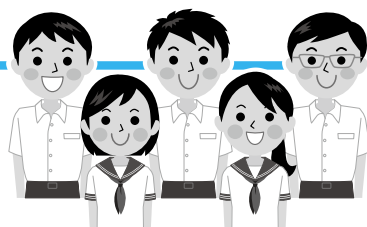
横手市には、大規模健康の駅【拠点型】が3箇所あり、トレーニング機材や運動指導スタッフが常駐、中規模健康の駅は公民館、小学校区単位で、小規模健康の駅は町内会単位で【地域派遣型】で、運動指導員や市民ボランティアを派遣し、地域交流等に取組み、課題として、認知症対策、新規参加者、リーダー育成、費用対効果の検証を挙げている。



取組みとして、わたしの健康宣言コーナーにて目標等の記入掲示や特定検診、がん検診受診率アップ等で健康寿命を伸ばし、短命返上を目指している。特に南部町の特定健診の受診率が47・3%と高いことや町内会ごとに健康・介護データ展示など、身近で目に見える結果から個々人が目標等を決め、自ら健康に取り組んでいた。長く健康でいるためには自己管理だけでなく、各データ等の結果から個人がどの様に貢献しているかなど、目に見えて分かることが健康で有り続ける励みとなり楽しみになると考える。

(曾根田 徹)

中学生議会



今年で3回目となった中学生議会が、8月7日(火)午前9時から開催された。後藤羽衣議長の進行のもと10人の議員が次々に登壇、議長も栗原咲月副議長と進行を交代し質問に立った。

各議員は、持ち時間の15分内で、日頃感じている身近な問題や他の市町村の事例なども引き合いに出し、再質問も行いながら町への質問・提言を行った。



議員と質問事項	
議員 氏名	質問事項
深沢 拍真	大井町のPR活動について
原 大智	道の駅の建設について
栗原 咲月	駅周辺の環境美化・施設の充実について
一寸木 美佑	大井町教育設備について
小澤 十望	町内のごみ箱・街灯の増設について
笠原 蘭	一般道路の設備について
後藤 羽衣	子どもの医療費について
小島 遼香	大井町の防災対策について
富岡 晴	中学校のグラウンドの改修について
波多野 颯人	移動販売について

● 町のこの人あの人 ●

町の自然資産「里山」に取り組む

相和もりあげ協議会



中屋敷地区
小宮 眞一郎さん

少子高齢化、農家の担い手不足、里山や農地の荒廃、そして過疎化。その様な状況下で地域の活性化を図るために、地域住民を中心に「相和もりあげ協議会」が発足した。そのリーダーとして活動している会長の小宮眞一郎さんを紹介する。

●小宮さんは中屋敷で生まれ育ち生粋の相和っ子だ。早くから農業に目覚め父より借り受けた山を開墾し、ブルーベリー園を開園して14年になる。毎年3

000人近くが来園するそうだ。

●相和盛り上げ協議会は農家民泊などにより大都市近郊である立地を生かし、首都圏より企業研修、体験型修学旅行生や一般旅行者を受け入れることにより、地域外からの資金を流入させ、地域の収入を増やすとともに地域の皆さんの生きがいづくりにつなげたいと活動を開始した。



400年もの間、地域を見守り続けるシイノキ

コ堀、梅もぎ、稲刈り、芋ほりなどを実施し、交流人口などを増やす事業を行っている。小宮さんはいち早く民泊を受け入れるために救急蘇生法講習を受講し現在受け入れも試行中とのこと。

●小宮さんの今後の想いは、この活動に参加して相和地域をくまなく歩き、改めて相和の歴史、文化と豊かな自然を知ったという。特に「鎮守の森」と呼ばれて大切にされてきた森は日本の中でも失われつつあり、先人たちが残してくれたありがたさを強く感じているという。今、新たに椎の木を植樹し後世に残し伝えることが自分の使命と考えているとのこと。

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

11月20日(火)午前9時 第4回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936



新たな広報常任委員です。
(氏名は、P 3に掲載)

牧野 一仁

9月に開催された定例会で永年町のかじ取り役として活躍されてきた間宮町長が今期限りで退任すると表明されました。お疲れ様でした。

平成の元号も来春で終わる時代が大きく変わろうとしている感じがします。

議会も小田議長が辞任により、新しい議長が誕生しました。同時に常任委員会の構成も替わり、議会、だよりの編集委員も替わり残りの任期を新たなメンバーで分かりやすい紙面づくりを心がけたいと考えています。

編集後記